
クリスマス事情、本部

遙胡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマス事情、本部

【著者名】

遙胡

N7756F

【あらすじ】

聖夜に行われた、サンタとトナカイのやり取り。今回の場所はいつもと違って・・・

(前書き)

一応『クリスマス事情、再び』の続きになります。
分かりにくい表現があるかも知れませんが、頑張ってください（笑）

終わった。

今年も長かった。ガキはさつと寝ろよ、たくつ。
さみいんだよ。

今年は雪が降らなかつただけよかつたけど、さみいもんはさみいんだよ。

本部もさあ、もつと考えろよ。暖かく快適に配れる方法をよ。サンタは殆ど年寄りなんだし、もつと体を労るうぜ。こつちだつてそんなに若くないんだぞ！

「今年も終わつちやつたね。雪が降らなかつたのは残念だつたけど、街のイルミネーションが

綺麗だつたから許しちやう 寒いからこそイルミネーションを見たときの気持ちつてあんなに盛り上がるのかな？

でも、私たちはまだ若いから寒さに負けちゃダメよね！」

「…………。」

「あれ、どうしたの？ 何も言わないの？ 調子悪い？」

「お前がこのやりとりに飽きたつて言つから黙つたんだろうが！ 言つていいなら言つぞ？！」

お前は、なんで、そんな正確に俺の気持ちがわかるんだ？！ しかも、否定的な意見だしよお！

いや、それはまだいい。人…つーか、おまえはトナカイだが、個人個人、意見はそれぞれだからな。

だが、心の中が読まれてるのは納得いかねえ！ 俺の人権は？！ プライバシーは？！」

はあ、はあ、い、言つてやつたぞ。

わあ、心うどい。正直、あのときの怒りがまたくる感じがと内心ドキドキだ。

俺いつからこんなに情けなくなつたんだ。

なんか泣けてくる。

「ははは、すいご声だの。向こうの方まで聞こえておっただい」

「あは、ラングドリーさん、お疲れさまです」

「お疲れさん、田本での仕事はどうだい？」

「楽しいですよ。最近の子供たちは夜更かしする子が多いけど、仕方ないですよ。ラングドリーさんのところはどちらが雪とか吹雪いてて大変でしょうか？」

「いやあ、毎年のことだから慣れてくれたよ。トナカイも頑張つてくれておるしなあ」

「確かフォースさんですよね？」

「ああ、年だからそろそろ引退だとか言つてゐるよ。わしもだかんな、ははは」

「えへ、ラングドリーさんたちが困なくなると寂しくなります」

「ははは。で、君たちは何を騒いでおつたんじや？」

「おー忘れられてると思ってたら急に話ふつてきたしー。ビビるわー。」

「ラングドリーさん、聞いてくださいこよーじの入つたら私に対する扱いがひどいんですよ」

「なんでだよー。お前の方がよっぽど俺に対する扱いがおかしいだるー。」

「ははは、仲良つやつておるよつて安心したわー」

「どーがですか」

「喧嘩するほど仲がよこと言つてんじゃない?それこ、わしにま楽しきうでよへ合つてゐるチームに見えるよ」

「はあ」

確かに仲が悪い訳じゃねえが、良いともいえないこと思つんだが……

…。

「まあ、トナカイなんてサンタクロースにならなかつたら会えなかつたんじゃし、サンタになつたとしても今のトナカイとパートナーになる確率も高くない。折角なのだから、この奇跡のよつな出会いを大切にしようじゃないか、お互いになあ

さすが人生の先輩。妙に説得力があるな。

「おーーー・ランドリー、報告に行くぞーーー。」
「おお、そうじゃつた。でわな、おー一人さん」
「はい、ランドリーさんたちもお元氣で」
「いつか、そちらに遊びに行きますね」
「ははは、楽しみにしておるよ」

奇跡のよつな出会いねえ まあ、そうかもな。サンタクロースになる奴なんてかなり限られてる。その中でそちらに特定のトナカイをパートナーにするなんかまさに奇跡だよな。

「来年も会えるといいね」
「そうだな」
「貴方もあんなカツコいこと言つてくれたらね」
「お前なあ…」

でも、今は無理でもいつか言つてお前を驚かせてやるよ。
それまでは先輩たちを見習つてみるのも悪くないかもしねない。

(後書き)

昨日ひつづき、今回ばかりはギリギリの更新になってしまった。
しかし、何とか2年連続一日間更新できてよかったです。
来年も会える事を願つて・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7756f/>

クリスマス事情、本部

2010年12月14日17時31分発行